

東京医科歯科大学研究設備・機器共用推進ポリシー

東京医科歯科大学は、「世界屈指のトータルヘルスケアサイエンス拠点の形成」を目指している。

本目標の達成には、研究環境のより抜本的な改革を実行する必要があるが、そのためには研究インフラの整備、なかでも本学の資産である研究設備・機器（以下、「機器」という）の有効活用が重要であると考え、全学の協力体制の下で機器の共用を推進するべく、本ポリシーを策定する。

1. 本学は、第4期中期目標・中期計画に基づき、全学的なマネジメントによる機器の戦略的な整備・共用を推進する。
2. 統合研究機構リサーチコアセンターを大学全体のコアファシリティ統括部門とし、全学の機器共用推進に関する具体的施策を実行する。
3. 全学保有機器について、設置場所、導入年数及び管理状況などの情報をデータベース化し、全学の機器共用化マネジメントに活用する。
4. 各研究室で保有・維持管理されている機器のうち、学内で共同利用することによる活用が見込まれるものについては、積極的に共用化の対象とする。
5. 共用化した機器については、学内での活用はもとより、学外研究機関との共同利用も推進していく。